

平成28年度 草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定し、平成27年度に中間見直しを行ないました「草津市水道ビジョン」に基づき、「安全で良質な水道水を安定的に供給する」という基本使命を果たしていくとともに、本市の水道事業が直面している施設や管路の老朽化と水需要の減少などの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めています。

本年度は、施設・管路面では、昨年度に引き続きロクハ浄水場の耐震性向上や、アセットマネジメントによる老朽化した管路の更新など、災害や水質事故などの非常時にも安定して水を供給できる施設整備を進めました。

組織体制面では、高齢化が進む技術系職員を新たに確保する等により技術承継を図りました。

経営面では「草津市水道事業経営計画」に基づき、効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みながら、引き続き水道料金の10%還元を実施し、水道水の安全性とおいしさのPRを行うなど利用促進に努めています。

今後とも、安全でおいしい水をつくり届け、快適な市民生活を支えていけるよう努力していきます。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,619万 m^3 で前年度比1.3%増、有収水量については約1,542万 m^3 で前年度比1.5%増、有収率は前年度より0.2ポイント増加して95.3%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持していますが、継続的に実施している管路診断業務（配水管漏水調査）や、計画的な老朽管更新を推し進めることによって、無効水量の減少、有収率の向上に努めていきます。

収益的収支の状況については、収益総額は24億1,820万1,228円 で前年度比0.8%増、費用総額は20億1,947万280円 で前年度比0.5%増加となり、その結果、3億9,873万948円（前年度比2.0%増）の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金は、減債積立金に1億9,937万円を積み立て、残額1億9,936万948円を建設改良積立金に積み立てる考えです。

資本的収支については、収入額6億9,184万7,880円（前年度比34.9%増）に対し、支出額は16億7,620万6,486円（前年度比9.5%増）となり、差引9億8,435万8,606円の資金不足が生じました。この不足額については、損益勘定留保資金5億1,624万920円、繰越工事資金632万5,926円、減債積立金1億9,539万円、建設改良積立金1億9,538万526円ならびに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,102万1,234円で補てんしました。

なお、建設改良費のうち北山田町配水本管更新他工事他5件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により1億5,479万7,000円を、営業費用のうち同工事他2件については、同法第26条第2項ただし書の規定により240万8,000円を平成29年度に繰り越しました。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減比率	
給 水 件 数	33,985 件	33,612 件	373 件	1.1 %	
配 水 量	総 量	16,188,719 m^3	15,985,283 m^3	203,436 m^3	1.3 %
	一日最大	49,618 m^3	52,179 m^3	△ 2,561 m^3	△ 4.9 %
	一日平均	44,353 m^3	43,676 m^3	677 m^3	1.6 %
有 収 水 量	15,420,284 m^3	15,195,566 m^3	224,718 m^3	1.5 %	
有 収 率	95.3 %	95.1 %	0.2 %	—	